


地域自主防犯活動活発化事業

実施結果報告書

1 団体名	APP
2 事業名	若者世代の地域防犯参画事業
3 事業実施 結果	<p>若者世代の地域防犯参画事業として、以下の通り実施しました。</p> <p>1. 青パト活動</p> <p>青パト活動については、企業の社用車を青パト車両として使用しており、企業と学生防犯ボランティア団体が連携して青パトを運用していくことは全国でも初の取り組みで、このモデルを全国に広げていくために、活動を継続しています。</p> <p>活動では、自転車盗・子どもの連れ去り等に重点を置いて活動しています。そのため、自転車置き場や、小学生の下校ルートを中心にパトロールを行っています。車両を使用してパトロールをするので、従来の徒歩パトロールよりも多くのエリアを回ることができるほか、回転灯により、歩行者や他のドライバーの目を引くため、活動の効果を実感しました。</p>  <p>青パト</p>

2. 昭和警察署との連携

(1) 合同パトロール

昭和警察署と不定期で、合同でパトロールを行いました。普段何気なく歩いている街にも様々な危険が潜んでいるということが分かり、防犯意識を高めることができました。

今後も、この活動を継続していくことで、地域の安心安全なまちづくりに貢献していき、尚且つ学生側の防犯意識を高めていきたいです。



合同パトロールの様子

(2) 防犯教室等のイベントへの参加

昭和警察署が主催した住宅展示場で行われた防犯教室では、侵入盗によるガラス割りの手口や、通常の窓ガラス・網ガラス・強化ガラスのガラス割り体験を行い、通常の窓ガラスや網ガラスは簡単に割れてしまうことや、強化ガラスの防犯上の優位性などを理解することができ、防犯意識を高めることができました。



ガラス割り体験をしている様子

<p>4 成果と課題 及び今後の 取組み</p>	<p>(1) 事業実施の成果及び課題</p> <p>青パト活動については、月2回を目標に掲げていましたが、大学の授業との兼ね合いもあり、月1回の活動となりました。しかし、警察関連の防犯啓発のイベントに参加する機会が増え、イベントを通して幅広い世代の方々と関わる機会が増えました。他には、青パト車両の貸し出し場所までの交通費の負担がネックとなって参加を躊躇していた新しいメンバーが活動に参加してくれるようになりました。</p> <p>昭和警察署との連携に関しては、合同パトロールを行い、防犯教室などの講座に参加する事で、地域住民に向けた防犯啓発だけでなく、メンバー自身の防犯意識を高めることができました。これらの活動を評価していただき、本年1月12日には、昭和警察署感謝状を受賞させていただきました。</p> <p>今後の課題としては、新規メンバーの獲得、より多くの現所属メンバーに活動に参加していただくことです。活動を継続していくには新規メンバーの加入促進はもちろんのこと、現状活動に参加していただいているメンバーが固定化されているため、今まで活動に参加していないメンバーにどのように参加してもらおうかが、今後APPとして活動を続けていくうえで大変重要な課題であると認識しています。</p> <p>(2) 今後の取組み</p> <p>今後の取り組みとしては、青パト活動の継続・活動メンバーの確保を重点的に行っていきたいと考えています。</p> <p>まず青パト活動については、使用する車両は企業の社用車で、企業と学生防犯ボランティア団体が連携して青パトを運用していくことは全国でも初の取り組みのため、この活動を継続していくことがこのモデルを全国に広げていくカギとなると考えています。</p> <p>活動メンバーの確保に関しては、新入生向けに勧誘チラシを作製、既存の活動に消極的なメンバーへの参加のアプローチを強化するなどして活動メンバーを確保していきたいと考えています。</p>
----------------------------------	---